

令和 7 年度 第 1 回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日 時 令和 7 年 5 月 1 5 日（木曜日）午前 1 0 時から午前 1 2 時まで
開催場所 東京都心身障害者福祉センター 1 2 階研修室
出席者 妹尾委員長、宮田副委員長、会田副委員長、岡田委員副委員長、相良委員、吉田委員、横山委員、徳嵩委員、樋口委員、渡辺委員、小出委員、清水委員、丹澤委員、皆川委員、徳武委員
事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 和田 他 5 名
公益財団法人総合健康推進財団職員 5 名

1 開会

事務局	- 資料確認 次第 資料 1 令和 7 年度東京都サービス管理責任者等研修検討会委員名簿 資料 2 東京都サービス管理責任者等研修検討会設置要綱 資料 3 令和 7 年度障害者総合支援法等関連研修検討会の構造図（案） 資料 4 令和 7 年度障害者総合支援法等関連研修 年間スケジュール（案） 資料 5 令和 7 年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 年間活動方針及び計画案について 資料 6 東京都のサービス提供事業において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む職場のリーダーの姿 Ver. 5 参考資料 1 令和 6 年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告 参考資料 2 令和 6 年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告 - 研修の委託先の公益財団法人健康推進財団の方と、本研修検討会を所管している東京都職員が参加している。 - 記録のため速記者が参加と録音させていただくこと、また、今回の検討会の会議録及び資料は公開するものとされるが、出席委員の意見により公開、非公開を決めることができる。
-----	---

2 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長挨拶

和田地域支援課長	- 今年度着任した地域支援課長の和田と申します。よろしくお願い致します。 - お忙しい中、本研修検討会の委員として力添えをいただけることに感謝申し上げます。事務局一同、本検討会が有意義となるよう、皆様と一緒にサービスの実の向上に資する取組を精力的に進めていきたい。引き続き、ご理解、ご協力のほどお願いしたい。 - 私ごとになるが、旧制度時代にはサービス管理責任者の研修の企画、講師を身体分野で担当していた。研修の企画や講師というのは苦勞も多いが、新しい出会いや刺激が受けられて大変勉強になった。1 0 年以上経って、このように多くの方の協力をいただき検討するようになったことに驚きと喜びを感じている。
----------	--

	・本研修会は国が示した標準カリキュラムを具体的なプログラムに落とし込んで、プログラムが円滑に進むよう活用する教材づくり等を行うことを目的としている。 - 今年度の検討会では、それぞれの研修のつながりを意識して横断的なテーマの検討を企画するということで、より一層、実り多い年となることを期待している。 ・研修の定員について、多くの受講希望のある基礎研修では今年度の定員を200名増やして2,600名、更新研修の定員を200名少なくして1,200名にするなど、申込者の状況に合わせていく。 ・あわせて本庁所管課では受講ニーズに対応するため、今年度から事業者による研修の指定を開始した。 ・圧倒的に不足している演習指導者については、引き続き今年度も募らせていただいているが、もし皆様の周囲で適任の方、担わせてみてはと思われる方がいたら推薦をお願いしたい。 ・研修の実施に当たって、今年も研修委託先である公益財団法人総合健康推進財団の皆様と意見交換をしながら必要な人材をしっかりと確保できるよう努めてまいりたい。
--	---

3 委員等紹介

委員等	・自己紹介（記録省略）
-----	-------------

4 検討事項

（１）委員長・副委員長選出

事務局	・資料2、検討会設置要綱第5の規定に基づいて、委員長を委員の皆様より互選していただきたい。
相良委員	・明星大学教授の妹尾先生を推薦する。
各委員	（異議なし）
妹尾委員長	・皆様、ご推薦ありがとうございます。 ・今年度は、いよいよ横断的により研修を深めていく新たな試みになっているので、さらに研修が充実するように、私も期待に沿えるよう努力していきたい。本年度もよろしくお願いします。 ・早速だが、副委員長は、基礎研修は新たに岡田委員、実践研修、更新研修は昨年度に引き続き宮田委員、会田委員をお願いしたいが、皆様いかがか。
各委員	（異議なし）
妹尾委員長	・ご賛同を得られたということで、早速進めたい。

（２）研修実施計画について

（３）年間活動方針案及び計画案について

（４）つながりを意識した研修プログラムの作成について

妹尾委員長	・改めて昨年度の検討会の活動成果を確認する。参考資料1の2頁、活動成果の今年度の取組について、参考資料1の5頁、次年度の取組について確認いただきたい。昨年度まで実施してきた各研修を引き続き
-------	--

	ブラッシュアップすることに加えて、基礎研修、実践研修、更新研修、それぞれの研修のつながりについて横断的な課題について具体的に検討していくことになる ・今年度の研修の実施計画としてスケジュール案を事務局からお願いしたい。
事務局	・資料４の表だが、上から障害支援区分関連研修、次が相談支援従事者研修、その下にサービス管理責任者等研修について記載されている。 ・サービス管理責任者等研修検討会は年４回の開催で、本日が第１回、第２回を８月１９日、第３回を１１月１１日、第４回を３月１３日に予定している。 ・国の指導者養成研修は、９月９日から９月１２日までの予定で、９月９日は専門コース別研修でオンライン実施。９月１０日から１２日までの３日間は基礎研修、実践研修、更新研修をテーマにして会場開催の予定。今年度は所沢の国立リハビリテーションセンターではなく、都内で開催すると聞いている。事務局から委員の皆様に参加について改めて相談をするので協力をお願いしたい。 ・演習指導者養成研修は東京都が実施する研修。定員は５０名、基礎研修の第１回と第２回の演習に合わせて実施をする。現在、推薦書を受付中で、まだ定員には至っていない。課長の挨拶にもあったとおり、まだ時間があるので、適任の方をご存じなら、ぜひ事務局まで一報をいただきたい。 ・基礎研修、実践研修、更新研修、専門コース別研修は、今年度も東京都の委託を受け、総合健康推進財団が実施する。 ・改めて、東京都と財団の役割分担について確認をしたい。研修教材の検討、作成は、この検討会と東京都で担当する。健康推進財団は各研修の実施案内、申込受付、当日の研修運営、受講者の出欠状況の把握などを担当する。 ・東京都は総合健康推進財団の研修運営に間に合うよう教材を提供しいかななくてはならない。今年度も検討会委員の皆様には教材作成の進捗管理について、ご協力をお願いしたい。 ・それぞれの研修の定員だが、基礎研修は昨年度から２００人増えて２，６００人で、第１回が１，６００人、第２回が１，０００人になる。実践研修は１，４００人、更新研修は１，２００人、それぞれ昨年度から２００人減っている。 ・スケジュールはおおむね昨年度並みだが、第１回基礎研修の日程数が多くなるので、第１回基礎研修の演習が８月から１０月まで、更新研修の演習が１０月、第２回基礎研修の演習が１１月から１２月、実践研修の演習が１月から２月にかけての実施となる予定。 ・専門コース別研修は、今年度も障害児をテーマに講義動画をオンデマンド配信する。定員は４００人で、今年度は１回で実施をする予定。年間スケジュールの説明は以上。
妹尾委員長	・何か質問や確認事項等あるか。このスケジュールで進めいくことによるしいか。
各委員	(異議なし)

妹尾委員長	・ 検討事項の３になるが、年間の活動方針案及び計画案について事務局から説明をお願いしたい。
事務局	・ 資料５を手元に用意をお願いしたい。まず、年間活動方針案だが、今年度は４点挙げた。二つ目と三つ目が昨年度の検討会の意見を反映している。 ・ 一つ目だが、「東京都のサービス提供事業所において障害者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダーの姿 V e r . 5 」に基づき、研修内容を検討する。 ・ 二つ目は、基礎研修、実践研修、更新研修で使用する教材のブラッシュアップを図るとともに、研修全体を見渡してつながりを意識した研修プログラムの作成をするため、横断的な課題を抽出・検討し、各研修に持ち帰る。 ・ 三つ目は、研修のポイントや役割についてファシリテーターの理解を促進するため、ファシリテーター説明会の内容を検討する。 ・ 四つ目は、質の高い研修を継続して実施するため、次期講師の育成と講師間の関係づくりを目的としたサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修を実施する、以上の４点となる。 ・ 続いて検討チームの編成案。今年度も基礎研修、実践研修、更新研修の三つの研修チームを主体として検討していただきたいと考えている。 ・ 基礎研修は、吉田委員、相良委員、岡田委員、徳嵩委員、横山委員、実践研修は、清水委員、小出委員、樋口委員、渡辺委員、宮田委員、そして更新研修は徳武委員、会田委員、丹澤委員、皆川委員となっている。 ・ 基礎研修を演習体験の場としている演習指導者養成研修については、相良委員と岡田委員から内容を引き継いでいくために、新たに吉田委員と横山委員に加わっていただく形を提案している。 ・ 研修検討チームは、各分野それぞれから参加していただくチームになる。分野の垣根を越えて、ぜひ活発な意見交換をしていただきたいと思っている。 ・ 専門コース別研修だが、障害児支援をテーマにしていくが、今年度は相談支援従事者研修検討会の検討委員とサビ管・児発管の検討会委員、横山さん、宮田さん、皆川さんとの合同チームで検討することとしている。 ・ 次に年間活動計画案になる。先ほど説明した年間スケジュールに合わせた形で教材作成のスケジュールなどを落とし込んでいる。年間活動方針の三つ目にあるファシリテーター説明会の日程もここに入っている。それぞれ研修のポイントやファシリテーターの役割をベテランファシリテーターにも経験の浅いファシリテーターにもしっかりと伝えるような工夫について検討していただきたい。 ・ 続いて、ホワイトボードをご覧ください。活動方針の二つ目、研修全体を見渡してつながりを意識した研修プログラムを作成するため、幾つかの横断的な課題を抽出・検討し、各研修に持ち帰ることについて、検討の進め方を事務局から提案させていただく。

	・ホワイトボードの左側が検討のスケジュールになる。この後、全体で、意見交換をして取り上げる課題を決めていただきたい。その後、チームに分かれての時間があるので、チームのメンバーの、どなたがどの課題に入るかということを決めてほしい。 ・第1回の検討会が終わって、第2回8月の検討会までに基礎、実践、更新、それぞれのメーリングリストで検討会の課題別グループで話したいことを整理してほしい。 ・整理の視点としては、例えば他の研修とすり合わせたいことや、各研修で想定している受講者のレベルがあると思うが、取り上げる課題についてどういうことを獲得、どの程度獲得してほしいのかといったことを取り上げていけたらと思っている。 ・各チームのメーリングリストで整理したことは、事務局で資料に落とし込んで、第2回検討会で配付をしたい。 ・第2回検討会当日は、課題別グループでの意見交換をして、その後、全体で共有し、各研修に持ち帰るという進め方を提案したい。 ・ホワイトボードの右側に、横断的な課題として、昨年度の検討会で意見があった課題を列举した。あくまでも事務局の案なので、委員の皆様から意見をいただき、取り上げる課題を決めていただきたい。
妹尾委員長	・こういう形では初めて審議をしていくことになるので、まずは事務局の提案の内容について確認や、もう少し詳しい説明など、皆様から何かあるか。
各委員	(発言なし)
妹尾委員長	・では早速だが、今現在は前回の会議までに出されていたキーワードやテーマを事務局で横断的課題の案ということで、全部で5点挙げている。もう少し追加があったらと思うが意見などあるか。
丹澤委員	・自立支援協議会が抜けているようなので、入れていただきたい。
妹尾委員長	・その他にないか。 ・意見等が出にくいようであれば、先にグループになっていただいて、通常の今年度の実務的な話と含めてやった方が意見が出ると思った。急に進行を変える提案をして申し訳ないが、いかがか。
各委員	(異議なし)
妹尾委員長	・では、ここからは研修ごとの検討チームに分かれて意見交換していただく。 ・先ほどの横断的な課題とキーワード的に、もう少し「どういったことが新しく増えたら」ということもある。もう少しグループで話すとなれば、例えばアセスメントでも「こうした次元とか論点で」という掘り下げた視点を整理するような意見交換もしていただけるとありがたい。 ・プラス、グループ分けのところも協議いただく形でお願いしたい。時間になったら各グループの委員の方から報告と課題について発表していただくことでよいか。
宮田副委員長	・課題の案を考えるのと、研修の委員の中で誰がどこに入るかも決めるのか。それはまた後でいいか。
事務局	・課題がまだ定まっていないので、それぞれのチームでこの話をしたい

	ということと、この話をするとしたらどこに入りたいという形で決めていただきたい。
宮田副委員長	・ふんわりという感じで。
事務局	・全体会になったときに、二つに分かれての議論が限界かと事務局では思っているの、年間では四つの課題について話すイメージを持っている。どれが選ばれるか分からないので、誰が入るかということも全体会で調整することになると思う。
妹尾委員長	・少しだけ補足すると、事務局でイメージをしていたのが、例えば8月19日に各種会議は基礎研から誰、実践から誰、更新から誰というグループと、自立支援協議会は基礎から誰、実践から誰、更新から誰という感じ。 ・今見ると六つぐらい出ているので、課題が3つあったらそれぞれ一人ずつ出てくるとか、3グループの分科会ができるイメージでいる。 ・もう少し課題が増えればグループが増えるということでもいいか。
事務局	・チームのメンバーが一番少ない更新研修が4人なので、そのチームから一人だけ出るのは心細いと思う。事務局の提案としては、二つのテーマにすれば、それぞれのチームから二人は出られるので、1回の検討会で二つの課題、次の検討会で二つの課題でどうかと思っていた。
妹尾委員長	・では、以上が進め方と次の会議のイメージとなる。ここからは、グループでよろしくお願ひしたい。

(5) 各研修検討チームでの検討

妹尾委員長	・では各グループから報告をしていただく。 ・今回は次回、次々回に向けての横断的な課題をどう整理するかがメインになるので、各グループの通常の準備手続は最小限の報告に、例えばここが変わるというぐらいにさせていただき、基本的には横断的な課題の部分をこのように議論した、または課題を増やした、の部分を中心に報告いただきたい。 ・今、各グループのホワイトボードを出している。事務局の方、いろんな意見が出ると思うので、全体を統合していくような形でメモもホワイトボードに書いていただけると話がスムーズかなと思うので準備よろしいか。 ・では、基礎研修からお願いしたい。
岡田副委員長	・横断的な課題を絞るのは少し難しかったかなというのと、まずは初回ということで、研修を越えて皆さんと意見交換していくことが大切な一歩かと思っている。 ・基礎研修として優先順位のようなものは立てた。それがアセスメント、モニタリング、各種会議、分野の異なる受講生の対応。 ・OJTも基礎から実践へという流れもあるので、そこも無くすわけにはいかない大切なキーワードというところと、自立支援協議会が実践、更新で出ている中で、基礎としてどのキーワードやテーマを受講生に伝えるのか改めて考えていっていいかと思っている。 ・基礎、実践、更新とある中で、各テーマについて基礎だったらのレベルを到達点とするのかについて、すり合わせを今までできてこなか

	ったと思っているので、確認していけるといいと思う。 ・一番もめたのがメンバー決め。 ・テーマから反れるが、各演習に参加してもらうファシリテーターの役割とか、コメントに何を求めるのか。基礎は「このコメントはこういうふうにしよう」と確認しているが、他の皆さんと一緒に共有してこなかったと思っているところ。 ・基礎は演習ノートの締切りが終わった。1月には振り返りが終わって、4月中に提出なので、少しタイトだなと泣き言を言った後に修正ポイントを確認したところ。個別支援計画の案と原案の違いというところが、改めて法令なども確認して整理しなければというのが課題として出てきた。
妹尾委員長	・続いて宮田委員にお願いしたい。
宮田副委員長	・実践研としては四つに分けた。個別支援計画、会議、人材育成、協議会という形。 ・アセスメントもモニタリングも計画のところに全部入れてしまう感じにして、計画策定の手順、またアセスメントやニーズの整理の仕方とか、実践研に来ている方たちも、基礎をやって覚えている前提で、その上に積み上げるといった研修は難しいという話になり、振り返りつつ、少しプラスアルファで求めるものを追加するほうがいいと思うので、その辺りは統一できるといい。 ・会議のところは会議の名称とか、事業所ごとに結構ばらばらだったりすると思うので、名称を統一したいということや、助言、指導もSVもOJTも全部含めて人材育成というテーマにして考えられるといいかなと思っている。 ・更新研を受けられる方たちは計画策定について、更新研でやらないが、実践と基礎では指導する立場であって、その人たちが知らないまま指導する、SVするとなると齟齬が出てOJTがうまくいかないようなことが起きると思うので、更新研の方も交えながら、計画策定の手順など考えられるといいと思っている。 ・協議会は、実践研が一番時間を割けそうと思っている。ただ、いきなり協議会が出てくると「初めて聞いた」みたいになって、そこから演習までもっていくのが結構難しい。基礎研でもワードとして触れているとは思いますが、基礎と実践と更新で国が求めている協議会の説明を少しでも分かりやすく受講者に伝えられるような工夫ができればいいと思う。 ・言葉の統一は結構大切だと思っている、去年もケース担当や利用者という言葉自体が分からなかったり、分野ごとで使っている言葉が違ったりするようなので、児童分野の方への配慮という部分は結構全体に関わるところがある。 ・事例のところで、基礎研と実践研を扱っている事例を共に理解して、完全にリンクはしなくても何となくつながりがあったり、児童分野の方にも配慮するような成育歴がある計画にするとか、成人を知ることが児童の方たちに意味があると思ってもらえるようなエピソードを盛り込むかんじ。

	・小さいときは通っていたが支援が途切れちゃって、その後に就労に来たとか、放デイでやっていたことが、うまく就労とかにつながらなくてなど。連携する大切さとか、成人になったときにどういう課題が出てくるかなどを知ること、児童の方たちへの興味、関心を引きつけられることができればいい。 ・実践研としては、まだ時間があるのと、次回に横断的な課題についてのテーマや言葉などが統一されると思うので、それを見てから演習ノートや進行スライドなどの作成に移れるといいかと思っている。優先としては個別支援計画と会議かと思ったが、どれも研修の内容には全部入っているため優先順位が難しいが、計画と会議を優先という形で受けている。
妹尾委員長	・続いて会田委員にお願いします。
会田副委員長	・今、宮田さんが話したのと更新研修も似ていると思った。アセスメントとモニタリングという項目が横断的な課題だったが、これは個別支援計画と絡めて一つのテーマでいいのではないかという意見が出た。 ・更新研修の中では個別支援計画を実際に作成はしないので、基礎、実践を受けてサビ管になる人よりも、もしかしたら支援計画の質自体は少し低いものになりがちかということで、この要素は入れたほうがいいかという意見があった。 ・各種会議、分野別の項目に関しては、一つの連携というテーマにして、そこで分野別に対しても働きかけをしたり、あとは各種会議の違いだったり、進め方などについても取り扱っていいかという意見であった。 ・OJTについては、OJTだけというより人材育成といった議案にして、その中にSVの要素も入れて横断的に課題としてどうできるのか話し合えるといいという意見があった。 ・自立支援協議会については、実践と更新とどう違うのかみたいな話がでたので、ここは当然取り扱えるといいという意見だった。 ・検討会の時間の構成などの確認にもなったが、通常の検討会だと最初に全体で話し合いをして、その後に各チームに分かれて議論をするが、今度、横断的な話し合いの時間が設けられると、通常の基礎、実践、更新のチームごとの話し合いというのが無くなってしまう懸念もあり、もし時間的に可能であれば、最初にチームごとの話し合いを簡単にして、その後に横断的な課題の案みたいな時間という形を取れると少し安心という意見もあった。 ・各テーマに二人ずつ委員を入れているが、一人でも寂しくないという意見もあったので、もし一人になるならば、それで臨める。 ・更新研修としての話し合いについて、言葉の説明という用語集を丹澤さんがかなり丁寧に作ってくれたので、今年度はそれを演習ノートに組み込んでいければと思っている。 ・スーパービジョンについての事前説明会を、今年度は事前動画配信で説明を行って、動画を見ていただいた後にアンケートを取り、そのアンケートをもって通常の更新研修のファシリテーター説明会のときに触れていけるといいかという打合せをした。

妹尾委員長	・ 短時間の間に深い議論をどうもありがとうございました。 ・ 実践研で出たように、例えばOJTも人材育成として一つのくくりにするとか、個別支援計画の中にアセスメント、モニタリングも一くくりにするところが更新研でも認められているのと、基礎研も他のグループに合わせると、1、2、3（アセスメント、モニタリング、各種会議）を一つにする形でもできないかと思ったが、そこを一くくりでやってしまうのは個別支援計画を含めてというところか。そこは何か一つ核となっていてできると思った。 ・ もう一つぐらい内容的には取り組めればと思うが、皆さんのほうで出てくるとしたら会議のところか。個別支援計画と会議をセットで議論したほうがいいのかと思うので、会議のところをもう一つの項目という感じでいかがか。 ・ 皆さんの発表を聞いて、8月はそんなイメージでいけるか。 ・ もし時間に若干余裕があるのなら、言葉の統一のところまでやるのか。丹澤さんのほうで言葉の用語集を作られているということなので、それを基に各グループで確認をして、もし修正があればするぐらいで、そこだけにすごく時間を取るという感じでなくてもいいかと思ったが。 ・ 今の報告を聞いての私の所感だが、もう少しこうした方がいいなど皆様の意見などよいか。
各委員	(発言なし)
妹尾委員長	・ では、8月はその二つで行きたいと思う。ここでメンバーも決めてよろしいか。
岡田副委員長	・ 二、三分、時間をいただけると。
妹尾委員長	・ 相談の時間を取りたいと思う。
各委員	(グループ相談)
妹尾委員長	・ 皆さん、ご協力ありがとうございました。8月のほうは横断的に話す課題のテーマが決まり、構成メンバーも決まった。 ・ 11月については、ホワイトボードで見ると、分野が異なる受講者の対応とOJTと自立支援協議会、このOJTのところは先ほど実践研でも出ていたが、自立支援協議会とOJTは人材養成になるということだったので広く捉える感じでいければいいと思う。 ・ 最後に、到達点のすり合わせというところが出ていたので、そこは横断的にやる意義というか、一番大きいところになるので、そこを最後もう一つ入れる形にしたい。一つ一つ押さえて、到達点の確認をして、最終的に全体で確認をしていくような形になるかと思う。 ・ 課題のテーマを分ける点についてはこれでよろしいか。もう一度参加グループのメンバーだけ確認していただいて、名前を書いていただいでよろしいか。
各委員	(グループ相談)
妹尾委員長	・ 8月、11月がおおむね決まった。今日は慌ただしく話を整理したところがあるので、議事録が来るときに事務局から整理した資料やメモを皆さんに出していただくことでよろしいか。 ・ 次回8月までの進め方、準備について事務局から説明いただきたい。

事務局	・ 8月に向けての横断的な課題は、個別支援計画と会議になったので、それぞれ基礎研修、実践研修、更新研修のメーリングリストで、こんなところを話し合いたいといった整理をしていただきたい。 ・ そちらを事務局で資料として落とし込んでいきたい。 ・ 次回が8月19日なので7月中くらいまでに議論していただきたい。 ・ 8月上旬に事務局で資料をまとめて皆様に配付したいと思う。 ・ 当日だが、先ほど議論の時間が課題ベースだけになってしまうのではといった話があった。今のところ2時間になっているので、そこをどう使うかは委員長と相談させていただく。事務局から補足をさせていただくと、2時間でなければいけないことはない。ただ人の集中力には限界があるので、その辺も情報として検討できればと思う。 ・ 第2回まではそのように進めたく、第3回に向けては、先ほどお伝えした第2回まで準備を第3回に向けて行うということで考えている。
妹尾委員長	・ 次回までの準備があるので、事務局からあったように、なるべく“このことをこう話したい”というのを明確に出したほうが、8月の議論がしやすいと思う。ふんわりというか、抽象的に出してしまうと話の論点がいろいろな切り分けになってしまうので、「基礎研では、この点はここまでの議論はこうしたくて、実践や更新ではこういうところまでお願いは可能なのか」といったところまで出していただけると議論が深まるかなと思うので、各グループのほうでお願いしたい。 ・ 全体の議論状況だが、皆さんの仕事の事情もあると思うので、もしグループで議論いただくときに、通常のグループの議論は例えば最低40分ぐらい欲しいとか、その辺の希望もあれば併せてお知らせいただき、事務局で全体調整ということでよろしいか。
事務局	・ 承知した。
宮田副委員長	・ 8月のところで言葉の統一まで少しできたらいいということで、丹澤さんが作ってくれているということなので、よければ事務局から全体に流してもらい、それに加えて、こういうワードも統一したいとか、研修ごとに出して、それも次回に出せると少しスムーズかと思う。
事務局	・ 承知した。
横山委員	・ 別の話になるが、基礎研修演習ノートの作成が大体終了しているところだが、例年「実践研修からの手紙」というのを頂戴して、それを基礎研修の資料に載せているところだが、変わりがないかの確認だが、いかがか。
宮田副委員長	・ 例年どおりになる。
妹尾委員長	・ では、そうしたら議論はここまでということになる。議事録と資料のホームページの公開について、委員の皆様、ご了承いただけるか。
各委員	(異議なし)
妹尾委員長	・ では本日の検討事項が済んだことを宣言し、進行は事務局に戻す。
事務局	・ 今日はたくさんの中身がある中で時間どおりに進めていただいた。妹尾委員長の的確な司会進行、本当にありがとうございました。 ・ 最後に事務連絡をさせていただく。この後の第2回までの間に、本日の議事録の要旨案をメーリングリストで送るので、確認をしていただけたらと思う。確定したものは心身障害者福祉センターのホームペー

ジに、本日の資料と一緒に掲載させていただく。

- ・次回の第2回検討会は、8月19日火曜日の10時から12時になる。場所は心身障害者福祉センター12階の研修室の予定。詳細については、改めてご案内する。第2回に向けて事前資料等もあるかと思うので、準備について協力いただければと思う。では、以上で閉会させていただく。お忙しい中のご参集、誠にありがとうございました。